

## 記者発表資料

### 平成31年度 千葉港湾事務所の事業概要について

平成31年度の千葉港湾事務所の主な事業概要は以下のとおりです。

1. 千葉港葛南中央地区国際物流ターミナル整備事業  
千葉港葛南中央地区において、泊地（水深12m）の埋没対策として防泥柵の補修を実施していきます。
2. 東京湾海洋環境整備事業  
海上交通が輻輳している東京湾の船舶の航行安全・湾内の環境改善のため、清掃兼油回収船「べいくりん」による浮遊ゴミや油の除去を行うとともに、モニタリングポストによる水質の連続観測等（東京湾海洋環境整備事業）に引き続き取り組んでいきます。

千葉港湾事務所ホームページURL <https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/chiba/>

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、  
千葉県政記者会、物流専門紙

#### 問い合わせ先

所属	国土交通省 関東地方整備局 千葉港湾事務所
氏名	副所長 長谷川 清治（はせがわ せいじ） 工務課長 伊勢 勉（いせ つとむ）
TEL	043-243-9173
FAX	043-204-4559

### 事業の概要

千葉港葛南中央地区は、地域の主要産業である鉄鋼製品の輸入等の貨物需要が増加しており、輸送船の大型化への対応が必要となっています。

また、背後地域は人口が集中しており、大規模地震発生後の緊急物資輸送を確保するための耐震強化岸壁の整備が強く求められています。

このため、既存ターミナル(水深10m)の増深等により、外貨貨物の増加と輸送船の大型化に対応するとともに、大規模地震に対する耐震性能を有する国際物流ターミナル(水深12m)を整備しています。

### 平成31年度予定

○泊地(水深12m)の付帯施設(防泥柵)の補修を実施します。

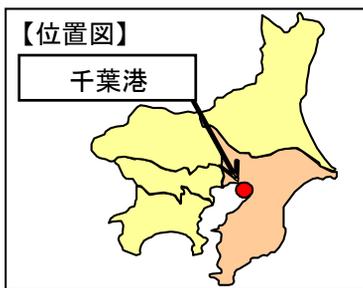
### 事業の効果

○国際物流ターミナルの増深等により、大型船による効率的な輸送が可能となり、地域産業の国際競争力が向上します。

○大規模地震の発生に際しても、緊急物資等の海上輸送機能を確保できます。

#### 【位置図】

千葉港



葛南中央地区

岸壁(水深12m)(改良)(耐震)

泊地(水深12m)

三番瀬

凡例

	直轄
	平成31年度直轄予定

# 東京湾 海洋環境整備事業

H31年度事業費：2億円

【東京湾全域】

## 事業の概要

東京湾における港湾区域以外の一般海域は国が清掃活動を実施しています。また、油流出事故等が起こった際には浮遊油回収等も行います。さらに、東京湾では富栄養化による赤潮や貧酸素水塊による青潮が発生しており、海洋環境把握のため水質データ等の取得も行っていきます。

## 平成31年度予定

- ◆清掃兼油回収船「べいくりん」による浮遊ゴミ・油の回収、水質調査を実施します。
- ◆東京湾内に設置した4箇所のモニタリングポストにより、気象（風向・風速・気温）、水質（水温・塩分・濁度・クロロフィルa・溶存酸素）、流況（流向・流速）について連続観測を実施し、データを公開します。

## 事業の効果

- ◆海面を漂う浮遊ゴミ・油の回収を行い、東京湾の水質改善及び親水空間への漂着による景観悪化防止並びに、航行船舶の安全性向上が図られています。
- ◆環境モニタリング等の各種環境調査を行うことで、湾全体の環境メカニズムの把握、水環境・生態系の保全・再生等今後の環境改善対策に生かされます。

## 平成31年度実施



清掃兼油回収船「べいくりん」による浮遊ゴミの回収作業



湾内6箇所にて水質調査を実施



設置されたモニタリングポスト(検見川沖)